

## 第29回府中病院薬薬連携研修会アンケート結果集計

日時：平成30年3月10日（土）15:30～17:30

場所：健康教室

参加者：計33名（アンケート回収 21名、うち未記入1名）

テーマ①：『認知症について』

A：よくわかった（7人） B：だいたいわかった（11人）

C：あまりよくわからなかった（0人） D：わからなかった（0人）

未回答（2人）

### 【学生からのご意見】

- ・医師がどのような考えで治療をされているのか、薬についてどのように考えておられるのかわかって良かった。
- ・診療科にかかるべき順序があることは初めて知りました。根本的な治療薬が研究されていることも初めて知りました。
- ・老年内科、精神科、神経内科の違いとそれぞれの役割を知ることができて良かったです。
- ・大学の講義では学ぶ機会が少ないため勉強になった。

### 【実習施設および他施設からのご意見】

- ・具体的な症例がわかりやすく示され、各タイプの認知症の違いがよく理解できました。
- ・薬がどのような意図にて処方されているのか聞くことができて良かった。

テーマ②：『認知症患者とのかかわり～もの忘れ外来での経験から～』

A：よくわかった（10人） B：だいたいわかった（8人）

C：あまりよくわからなかった（0人） D：わからなかった（0人）

未回答（2人）

【学生からのご意見】

- ・認知症の患者さんへの接し方が知れてよかった。
- ・私たちが実際に患者さんに接するときにも役に立つと思いました。
- ・どういう検査をされているのか知ることができて良かった。
- ・症例を交えての説明で具体的な症状がわかったのもよかった。
- ・臨床心理士さんがどのようなお仕事をされているのかわかって良かったです。

【実習施設および他施設からのご意見】

- ・患者さまの気持ちを考え、寄り添って私たちも服薬指導をすることが大切であると思いました。また自分自身の気持ちが相手に移ってしまうことがあることには気をつけて対応しようと思いました。
- ・物忘れ外来という名前は聞いたことがあったが、どのようなものか知らなかったので実際の症例の話が聞けて良かった。薬局での服薬指導にも活かせる部分があると感じた。
- ・共感しながら話をすることの大切さを、事例から学びました。
- ・患者さんの思いをくみ取る難しさを感じました。

テーマ③：『認知症の薬物療法～薬局&病院薬剤師は何しよう～』

A：よくわかった（12人） B：だいたいわかった（5人）

C：あまりよくわからなかった（0人） D：わからなかった（0人）

未回答（2人）

【学生からのご意見】

- ・薬剤の特徴をひとつひとつ整理することができました。
- ・途中で中止してしまうことでせっかくの効果が失われてしまうのはすごくもったいないことだと思いました。やめないように指導することも大切だと思った。

【実習施設および他施設からのご意見】

- ・認知症治療薬が1年で半数以上中断されていることや、中断により服薬してきた意味がなくなり認知症が進んでしまう可能性があることを知り、いかに服薬継続してもらうかが重要であることを改めて感じました。BPSDに対する抗精神薬も禁忌に注意し、使用の必要性を見直すことも必要であることも知りました。
- ・4種類の薬剤の比較が整理されていてわかりやすかった。今後さらに認知症の患者さんは増えると思うので薬剤師としてうまく治療に関与していけるよう知識を整理していきたい。
- ・治療薬の使用法のフローチャートの提示・説明がわかりやすく良かった。
- ・副作用チェックで気をつけるポイントが日々の指導に役立つと思います。
- ・薬剤の使い分けがどのようになされているのか系統的に理解できて大変勉強になりました。
- ・認知症治療薬各種は副作用が出ることも多く処方変更の提案をすることも時々あります。今後は本日学んだことを基に処方提案しようと思います。
- ・薬の中断を防ぐために説明しておかなければならないポイントがよくわかりました。

今後企画して欲しい内容などありましたら下記に記載してください。  
(複数回答可・16名より回答)

